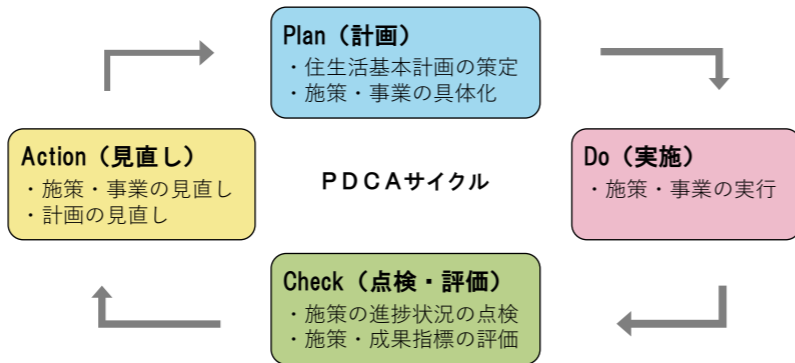


基本目標	No	成果目標	現状	目標
基本目標 1	1	既存民間住宅の耐震化率	89.3% (R7年度)	耐震性が不足する住宅をおおむね解消 (R17年度)
	2	通報等のあった管理不良状態にある空家等の解消率	58.1% (R6年度)	62.0% (R17年度)
基本目標 2	3	市内で活躍する工務店の情報の登録等を行う制度	未設置 (R7年度)	実施運用 (R12年度)
	4	共同住宅における共用部分のバリアフリー化率	22.1% (R5年)	28.0% (R10年)
基本目標 3	5	既存住宅の流通シェア	26.4% (R5年)	30.0% (R10年)
	6	中古住宅の流通を促進する補助制度の利用件数 (年間)	17件 (R6年度)	30件 (R12年度)
	7	「八尾市空家バンク制度」登録者数 (物件登録者+利用希望者)	69件 (R6年度)	100件 (R12年度)
基本目標 4	8	高齢者等の入居を拒否しない民間賃貸住宅 (セーフティネット住宅) の登録数	1,684件 (R6年度)	1,700件 (R12年度)
	9	居住支援協議会の会議開催数 (総会+ワーキング会議)	年2回 (R7年度)	年3回 (R12年度)
	10	市営住宅改善事業実施戸数	310戸 (R7年度)	360戸 (R12年度)
基本目標 5	11	建築士、弁護士による住宅相談の稼働率、相談件数	43.1% 31件 (R6年度)	62.5% 45件 (R12年度)
	12	住教育等の体験教室やセミナーの参加人数 (年間)	466人 (R6年度)	900人 (R12年度)
	13	ネットワーク施策展開の実施率	73.0% (R6年度)	100% (R12年度)

05 計画の実現に向けて

- ・よりよい住まい・まちをめざすため、行政だけでなく、市民・NPO・民間事業者等、様々な主体が協働して住まい・まちづくりに取り組みます。
- ・計画の進行管理は、マネジメントシステムの考え方にに基づき、計画-実施-点検-評価-見直しを着実に進めていくPDCAサイクルの手法を用いています。



**大阪府 八尾市**  
〒581-0003 大阪府八尾市本町一丁目1番1号  
TEL : 072-924-3783 FAX : 072-924-2301  
E-mail : jyutakuseisaku@city.yao.lg.jp  
八尾市ホームページ http://www.city.yao.osaka.jp/

**八尾市住宅マスタープラン (住生活基本計画) 概要版**  
令和8(2026)年3月策定・発行  
編集・発行 八尾市建築部住宅政策課  
刊行物番号 R07-212

# 八尾市住宅マスタープラン (住生活基本計画)

## 概要版

01 住宅マスタープラン (住生活基本計画) とは

このマークは計画書本編のページ数を示しています

(1) 計画策定の背景と目的

「住生活基本計画」とは、住宅政策全般を対象とするマスタープランで、平成18(2006)年6月公布の「住生活基本法」に位置づけられています。

八尾市においては、住生活基本法の基本理念や住生活基本計画(全国計画)、大阪府の計画を踏まえ、地域の特性に応じたきめ細やかな施策の検討・実現のため住生活基本計画を策定し、住宅政策を進めてきました。

今回の改定は、令和3(2021)年3月の「八尾市住宅マスタープラン(住生活基本計画)」の策定から5年が経過したことや、国・府の計画見直しの動きを受けて、社会・経済の変化等を反映すべく、中間見直しを行うものです。

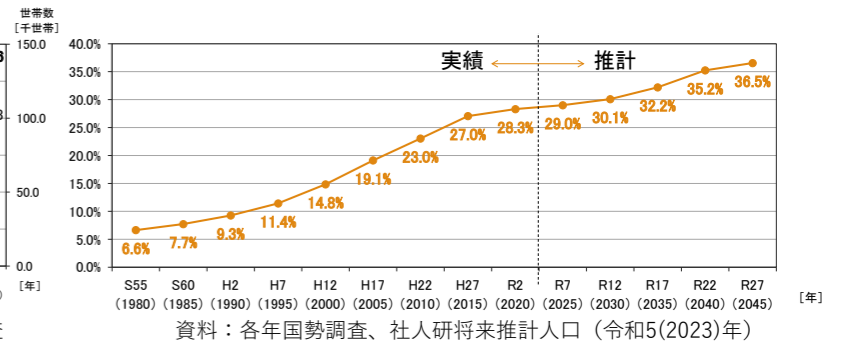
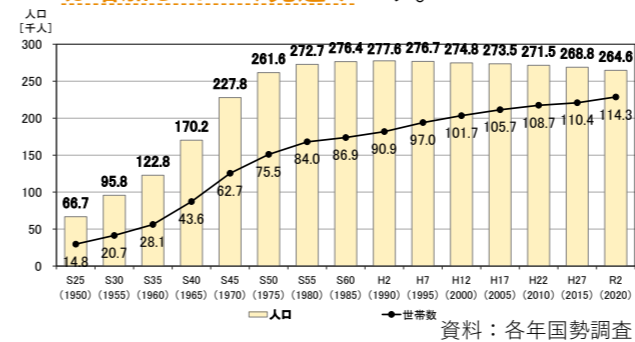
(2) 計画期間

今回の改定は中間年度における進行管理のための部分変更として、「八尾市住宅マスタープラン」の計画期間は従来どおり、**令和12(2030)年度までの10年間**とします。

02 八尾市の現況

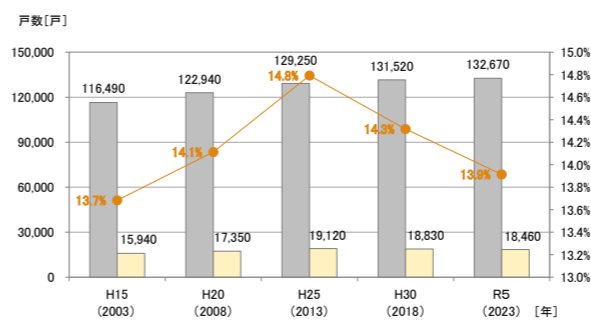
人口減少・高齢化が進行

- ・令和2年(2020)年の八尾市の**人口は264,642人**となっています。ピークは平成2(1990)年の277,568人で、令和2(2020)年の人口は平成2(1990)年に比べて約4.7%減少しています。**今後も人口は減少していく見込み**です。
- ・令和2(2020)年の**高齢化率は28.3%**で、昭和55(1990)年以降増加し続けています。**今後も高齢化率は増加していく見込み**です。



八尾市の空家率は13.9%

- ・八尾市の住宅の内訳は、「居住している住宅」が85.8%、「居住していない住宅」が14.2%となっています。
- ・「居住していない住宅」のうち、「**空家**」が**13.9%**を占めています。



住宅への満足度は高く、定住意向も高い

- 令和元(2019)年に実施した市民意向調査によると、
- ・**80%以上**の回答者は、**現在の住宅に満足**しています。
- ・**70%以上**の回答者は**定住意向があり**、その理由は「**住み慣れているから**」が最も多くなっています。
- ・定住意向のない理由は「**経済的理由**」が最も多くなっています。

表 定住意向の有無及びその理由

項目	定住意向あり	定住意向なし
定住意向の有無	72.6%	27.4%
理由	1位 住み慣れているから (70.8%)	経済的理由 (33.9%)
	2位 日常の買い物の利便性 (65.8%)	日常の買い物の利便性 (29.8%)
	3位 持ち家だから・持ち家が欲しいから (61.5%)	持ち家だから・持ち家が欲しいから (26.9%)

資料：令和元(2019)年度実施市民意識調査

基本理念

みんなつながる、魅力あふれる、安全・安心のまち  
住んでええとこ 八尾

